

環境調査結果のお知らせ

令和8年7月2日11時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害とされる**カレニア・ミキモトイ**が**最高で188 cell/mL**、シャットネラ属が最高で4 cells/mL、コクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で4 cells/mL確認されました。また、麻痺性貝毒の原因種である**ギムノディニウム・カテナータム**が**最高で230 cells/mL**確認されました。**ギムノディニウム・カテナータム**は二枚貝の毒化が懸念される警戒基準値（1 cell/mL）を大きく上回っていますので、十分注意してください。また、**カレニア・ミキモトイ**は赤潮発生が懸念される注意基準値（100 cells/mL）を上回っていますので、併せて注意してください。

このほか、主に麻痺性貝毒原因種とされる**アレキサンドリウム**属が最高で31 cells/mL（大谷漁港内 2 m）確認されました。当該プランクトンも注意基準値（10 cells/mL）を超えていますので注意してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	コクロディニウム・ポリクリコイデス	ギムノディニウム・カテナータム
	(m)	(℃)		(mg/L)				
A ガラク (4.1m) 【12:10】	0	26.3	25.5	8.2	0	0	0	0
	2	25.7	28.3	8.5	0	2	0	12
	5	24.6	32.2	7.0	5	2	2	0
	10	24.4	33.3	6.8	4	0	0	0
	底層 14	24.4	33.4	6.8	-	-	-	-
B 勢井 (6.3m) 【12:19】	0	25.5	28.8	7.6	2	0	0	2
	2	25.1	30.3	7.1	8	2	0	0
	5	24.6	32.3	6.7	9	1	1	33
	10	24.3	33.2	5.8	0	0	0	0
	底層 18	24.1	33.7	5.3	-	-	-	-
C 馬の背 (4.6m) 【12:25】	0	27.1	26.3	8.6	1	0	0	16
	2	25.3	29.5	8.5	2	1	0	7
	5	24.6	32.2	6.6	94	0	0	0
	10	24.3	33.1	5.9	0	0	0	6
	底層 18.5	24.1	33.7	5.7	-	-	-	-
D 大室戸 (5.9m) 【11:50】	0	26.8	27.2	8.3	0	1	0	0
	2	25.2	30.1	7.0	25	0	0	9
	5	24.7	32.0	6.4	5	0	0	230
	10	24.4	33.2	6.3	0	0	0	0
	底層 18.5	24.2	33.7	6.2	-	-	-	-
E 白浜 (5.7m) 【11:59】	0	25.6	28.0	7.0	0	0	0	0
	2	25.1	29.8	6.8	0	0	0	4
	5	24.5	32.5	6.5	15	2	0	0
	10	24.4	33.4	6.2	0	0	0	8
	底層 17.5	24.1	33.6	5.8	-	-	-	-
1 潮ばかり公園堤防 内側 (6m) 【12:35】	0	27.5	24.1	8.4	0	1	0	0
	2	25.5	28.6	8.6	3	2	0	0
	5	24.6	32.3	5.5	2	0	0	21
	10	24.3	33.2	4.8	0	0	0	0
	底層 12.5	24.2	33.3	4.6	-	-	-	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	ギムノディニウム・ カテナータム
	(m)	(℃)		(mg/L)				
F 湾奥ブイ (5.4m) 【11:37】	0	25.8	27.8	8.9	0	2	0	0
	2	25.3	29.2	8.5	0	4	0	0
	5	24.7	31.8	6.8	7	0	0	155
	10	24.3	33.2	5.2	0	0	0	4
	底層 15.5	24.1	33.5	5.0	-	-	-	-
G 大谷漁港内 (5.2m) 【12:42】	0	25.8	24.1	8.5	0	0	0	0
	2	25.4	29.4	8.6	0	2	4	12
	5	24.6	32.2	5.4	0	1	0	14
	底層 8.5	24.4	33.0	4.8	-	-	-	-
1 潮ばかり公園前 (持ち込み海水)	表層 0	-			188	1	0	208

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				野見湾
カレニア・ミキモトイ	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	6～8月
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	2～4月
ギムノディニウム・カテナータム	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: ガラク

B: 勢井

C: 馬の背

D: 大室戸

E: 白浜

1: 潮ばかり公園堤防内側

F: 湾奥ブイ

G: 大谷漁港内

カレニア・ミキモトイ

最大細胞密度



シャットネラ属

最大細胞密度



コクロディニウム・ポリクリコイデス

最大細胞密度



ギムノディニウム・カテナータム

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0

×

1~9

10

100

1,000

10,000

100,000

300,000

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

